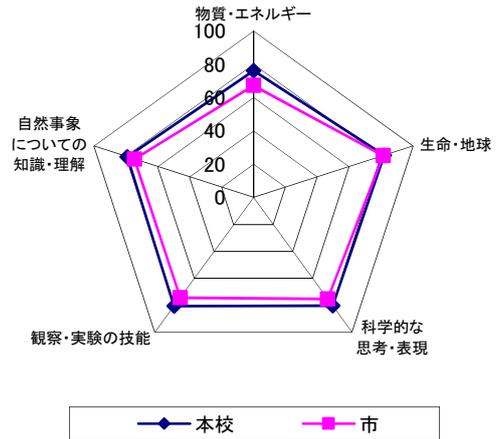


# 宇都宮市立海道小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	76.2	67.3	64.4
	生命・地球	81.9	81.3	80.3
観点別	科学的な思考・表現	80.3	75.3	72.6
	観察・実験の技能	80.6	74.4	73.5
	自然事象についての知識・理解	79.1	74.7	73.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>平均正答率は76.2%で、市の平均より8.9ポイント高い。</p> <p>○ふりこのきまりの正答率は76.7%、物のとけ方は93.3%と高い正答率だった。指導者が学習ノートを作り、計画的に学習を進めてきたこと学習プリント等で復習をさせてきた成果であると考えられる。</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察で生じた矛盾点を大切に扱い、原因を考え、それを解決する実験や観察を行うことを積極的に行っていく。</li> <li>・今後も単元の間や家庭学習で既習の学習を振り返る場を計画的に設け、知識の再構築を図る。</li> <li>・理科を苦手としている児童に個別指導を行い、問題を自力で解くことを通して苦手意識を取り除いていく。</li> </ul>
生命・地球	<p>平均正答率は81.9%で、市の平均より0.6ポイント高い。</p> <p>○人のたんじょうの問題が86.7%と高い正答率だった。人体模型を使って一人一人に実際に触れさせたりパソコンを使って理解を深めさせてきた成果であると考えられる。</p> <p>●植物のつくりとはたらきの問題で、葉がでんぷんを作っていることを調べることにつまづきが見られた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月や地層の観察や人体のように実際に観察することが難しい学習に関しては、タブレット型パソコンや市が作成したDVD、模型や標本を活用して学習を進めていく。</li> <li>・児童のつまづきの原因が実験や観察を一つの方法だけにこだわったことにあるため今後は複数の方法で実験や観察を行い、問題の解決を図っていく。</li> </ul>